グループを理解する

Active IQ Unified Manager

NetApp
October 15, 2025

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/active-iq-unified-manager-916/health-checker/concept_what_group_is.html on October 15, 2025. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

グループを理解する 1
グループとは 1
グループでのグループ ルールの仕組み 1
条件 2
条件を使用したグループ ルールの例 3
条件グループ 3
条件グループを使用したグループ ルールの例 3
ストレージ オブジェクトでのグループ操作の仕組み 3
ユニークなグループアクションの例 4

グループを理解する

Unified Manager でグループを作成して、ストレージ オブジェクトを管理できます。グループの概念とグループ ルールを使用してストレージ オブジェクトをグループに追加する方法を理解しておくと、環境内のストレージ オブジェクトを管理するのに役立ちます。

グループとは

グループとは、異機種ストレージ オブジェクト (クラスター、SVM、ボリューム) の動的なコレクションです。 Unified Manager でグループを作成して、ストレージ オブジェクトのセットを簡単に管理できます。グループ内のメンバーは、Unified Manager によってある時点で監視されているストレージ オブジェクトに応じて変更される可能性があります。

- グループごとに一意の名前を付けます。
- グループごとに少なくとも1つのグループ ルールを設定する必要があります。
- 1つのグループを複数のグループ ルールに関連付けることができます。
- 1つのグループに複数の種類のストレージ オブジェクト（クラスタ、SVM、またはボリューム）を含めることができます。
- ストレージ オブジェクトは、グループ ルールが作成された時点、または Unified Manager が監視サイクルを完了した時点に基づいて、グループに動的に追加されます。
- グループ内のすべてのストレージ オブジェクトに同じ処理（ボリュームのしきい値の設定など）を同時に適用することができます。

グループでのグループ ルールの仕組み

グループ ルールとは、ストレージ オブジェクト（ボリューム、クラスタ、またはSVM）を特定のグループに追加する基準を定義したものです。グループのグループ ルールは、条件グループまたは条件を使用して定義します。

- グループには必ずグループ ルールを関連付ける必要があります。
- グループ ルールにはオブジェクト タイプを関連付ける必要があります。関連付けることができるオブジェクト タイプは1つだけです。
- グループに対してストレージ オブジェクトが追加または削除されるのは、各監視サイクルの完了後、およびルールの作成、編集、削除時です。
- グループ ルールには1つ以上の条件グループを、各条件グループには1つ以上の条件を含めることができます。
- ストレージ オブジェクトは、作成されたグループ ルールに基づいて複数のグループに属することができます。

条件

複数の条件グループを作成し、各条件グループに1つ以上の条件を含めることができます。グループのグループ ルールに定義されたすべての条件グループを適用して、グループに含めるストレージ オブジェクトを指定することができます。

条件グループに含まれる条件は論理ANDを使用して実行され、条件グループのすべての条件を満たす必要があります。条件はグループ ルールを作成または変更すると作成され、条件グループのすべての条件を満たすストレージ オブジェクトのみが適用、選択、およびグループの対象となります。グループに含めるストレージ オブジェクトの範囲を限定するには、条件グループで複数の条件を使用します。

次のオペランドと演算子を使用して必要な値を指定することで、ストレージ オブジェクトの条件を作成できます。

ストレージオブジェクトタイプ	適用可能なオペランド
Volume	• オブジェクト名 • 所有クラスタ名 • 所有SVM名 • アノテーション
SVM	• オブジェクト名 • 所有クラスタ名 • アノテーション
クラスタ	• オブジェクト名 • アノテーション

任意のストレージ オブジェクトのオペランドとして注釈を選択すると、「`Is`」演算子が使用可能になります。その他のすべてのオペランドについては、演算子として「`Is`」または「`Contains`」のいずれかを選択できます。

- オペランド

  Unified Manager のオペランドのリストは、選択したオブジェクト タイプに基づいて変わります。リストには、Unified Manager で定義したオブジェクト名、所有クラスタ名、所有 SVM 名、注釈が含まれます。

- オペレーター

  演算子のリストは、条件に対して選択したオペランドによって変わります。Unified Manager でサポートされている演算子は、「`Is`」と「`Contains`」です。

  「`Is`」演算子を選択すると、選択したオペランドに指定された値とオペランド値が完全に一致するかどうか条件が評価されます。

  「`Contains`」演算子を選択すると、条件は次のいずれかの基準を満たすかどうか評価されます。

  - 選択したオペランドの値が指定した値と完全に一致する。

    - 選択したオペランドの値に指定した値が含まれる。
- Value

  値のフィールドは、選択したオペランドによって変わります。

条件を使用したグループ ルールの例

ボリュームに対する条件グループで、次の2つの条件が定義されているとします。

- 名前に「`vol`」が含まれています
- SVM名は「`data_svm`」です

この条件グループは、名前に「`vol`」が含まれ、「`data_svm`」という名前の SVM でホストされているすべてのボリュームを選択します。

条件グループ

条件グループは論理ORを使用して実行され、ストレージ オブジェクトに適用されます。ストレージ オブジェクトがグループに追加されるためには、いずれかの条件グループを満たす必要があります。いずれかの条件グループを満たすすべてのストレージ オブジェクトがグループにまとめられます。条件グループを使用して、グループに含めるストレージ オブジェクトの範囲を広げることができます。

条件グループを使用したグループ ルールの例

ボリュームに対する2つの条件グループで、各グループにそれぞれ次の2つの条件が定義されているとします。

- 条件グループ1
    - 名前に「`vol`」が含まれています
    - SVM 名は「`data_svm`」です。条件グループ 1 は、名前に「`vol`」が含まれ、名前が「`data_svm`」の SVM でホストされているすべてのボリュームを選択します。
- 条件グループ2
    - 名前に「`vol`」が含まれています
    - データ プライオリティの注釈値は「`critical`」です。条件グループ 2 は、名前に「`vol`」が含まれ、データ プライオリティ注釈値が「`critical`」として注釈されているすべてのボリュームを選択します。

これらの2つの条件グループを含むグループ ルールをストレージ オブジェクトに適用した場合、選択したグループに次のストレージ オブジェクトが追加されます。

- 名前に「`vol`」が含まれ、「`data_svm`」という名前の SVM でホストされているすべてのボリューム。
- 名前に「`vol`」が含まれ、データ優先度注釈値「`critical`」が付けられているすべてのボリューム。

ストレージ オブジェクトでのグループ操作の仕組み

グループ アクションは、グループ内のすべてのストレージ オブジェクトに対して実行さ

れる操作です。たとえば、ボリュームしきい値グループ アクションを構成して、グループ内のすべてのボリュームのボリュームしきい値を同時に変更できます。

グループは、固有のグループ アクション タイプをサポートします。ボリューム ヘルスしきい値グループ アクション タイプを 1 つだけ持つグループを作成できます。ただし、同じグループに対して、異なるタイプのグループ アクション (使用可能な場合) を構成することもできます。グループ アクションのランクによって、アクションがストレージ オブジェクトに適用される順序が決まります。ストレージ オブジェクトの詳細ページには、ストレージ オブジェクトに適用されているグループ アクションに関する情報が表示されます。

ユニークなグループアクションの例

グループ G1 および G2 に属するボリューム A があり、これらのグループに対して次のボリューム ヘルスしきい値グループ アクションが構成されているとします。

- `Change_capacity_threshold`ボリュームの容量を設定するためのランク1のグループアクション
- `Change_snapshot_copies`ボリュームのスナップショットコピーを構成するための、ランク2のグループアクション

その `Change_capacity_threshold`集団行動は常に `Change_snapshot_copies`グループアクションが実行され、ボリュームAに適用されます。Unified Managerが監視の1サイクルを完了すると、ボリュームAのヘルスしきい値関連イベントは、 `Change_capacity_threshold`集団行動。 G1 グループまたは G2 グループに対して、別のボリュームしきい値タイプのグループ アクションを構成することはできません。

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、http://www.netapp.com/TMに記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。